

## 学校・学科の充実

生徒一人一人に対するきめ細かな指導の下、創意工夫を生かした特色ある教育活動を進めるとともに、本県の未来を担う人財※を育成できるよう、次のとおり取り組みます。

※人財：「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」等では「人は青森県にとっての『財(たから)』である」という基本の考えから、「人材」を「人財」と表記しています。

## 全ての高校に共通して求められる教育環境

### カリキュラム・マネジメントの適切な実施

- 県教育委員会において、スクール・ミッション(各校に求められる役割や目指すべき学校像等)を明確化します。
- 各高校において、スクール・ポリシー(一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な方針)を策定します。
- 各高校において、教育活動の充実を図るカリキュラム・マネジメントを適切に実施します。



### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等

- 生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、未来を切り拓いていくために必要な力等を育みます。
- STEAM教育※の視点を取り入れながら、探究的な学びを重視した教育活動を展開します。

※STEAM教育:各教科における学習を実社会の問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育であり、幅広い分野で新しい価値を提供できる人材の養成を目指すものです。

### 社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度の育成

- 小・中学校におけるキャリア教育の成果を受け継ぎながら、教育活動全体を通じたキャリア教育に取り組みます。
- 地域・企業等と連携したインターンシップや大学等と連携したアカデミック・インターンシップ等の充実を図ります。



## 全日制課程

### 普通科等の充実

#### 各校の教育環境の充実

- 大学等への進学や就職等、生徒の幅広い進路志望に対応するとともに、様々な分野で活躍できる人財の育成に向け、地域の実情に応じた教育活動や各校の特色を生かした取組を推進します。

#### 重点校と各校の連携による取組

- 今後求められる人財の育成に向けた探究活動等の特色ある教育活動の中核的役割を担う重点校を配置し、県全体の普通科等における教育の質の確保・向上を図ります。

重点校の配置	東青地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三八地区
	青森高校	五所川原高校	弘前高校	三本木高校	田名部高校	八戸高校

- 重点校が実施する研究会や講習会等へ各校の生徒が参加し、学習成果の共有に向けた生徒同士の交流等の連携を進めます。

#### 学科改編

##### 外国語科→グローバル探究科

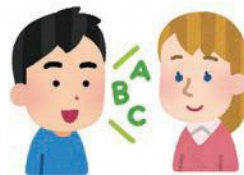
##### 【青森南高等学校】

##### 外国語科の学習内容を発展的に見直しグローバル探究科へ改編

- 国際バカロレア※の理念に基づき、生徒がグローバルに活躍するために必要な語学力や、課題発見・解決能力等を身に付けられる学習の充実を図ります。

- 国内外の学校等と協働しながらSDGsの実現等に着眼した探究活動を実施します。

※国際バカロレア:国際バカロレア機構が実施する「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成」を教育理念とした国際的な教育プログラムです。



### 総合学科の充実

#### 各校の教育環境の充実

- 自身の個性の発見や自己の在り方・生き方の考察をさせることで、将来を見据えた主体的な系列選択を促すとともに、多様な選択科目の充実を図り、生徒の幅広い進路志望に対応します。

### 職業学科を主とする専門学科の充実

#### 各校の教育環境の充実

- 基礎的・基本的な知識・技能に加え、職業の多様化に対応できる資質・能力を育むとともに、社会の発展に貢献できる人財の育成に向け、地域・企業等と連携・協力した取組を推進します。

#### 拠点校と各校の連携による取組

- 農業科・工業科・商業科の学習の拠点としての役割を担う拠点校を配置し、県全体の職業教育を主とする専門学科における教育の質の確保・向上を図ります。

拠点校の配置	農業科	工業科	商業科
	五所川原農林高校 三本木農業恵拓高校	青森工業高校 弘前工業高校 八戸工業高校	青森商業高校

- 拠点校が実施する技術講習会や出前講座等へ各校の生徒が参加し、学習成果の共有に向けた生徒同士の交流等の連携を進めます。

#### 学科改編

##### 農業科

##### 【五所川原農林高等学校】

##### 森林科学科と環境土木科を統合し環境科学科へ改編

森林の構造・機能・育成、農業土木、環境保全等に関する学習の充実を図ります。

##### 【柏木農業高等学校】

##### 生活科学科を生物生産科へ統合

農業生産や農業経営等に加え、地域資源の活用に関する学習の充実を図ります。

##### 工業科

##### 【むつ工業高等学校(下北地区統合校)】

##### 電気科と設備・エネルギー科を統合し電気・エネルギー科へ改編

発電や送電、電気配線工事、エネルギー等に関する学習の充実を図ります。

学校名	R4	R5~R9	学校名	R4	R5~R9
五所川原農林	生物生産	→ 変更なし	むつ工業 (下北地区統合校)	機械	→ 変更なし
	森林科学	→ 環境科学		電気	→ 電気・エネルギー
	環境土木	→ 環境科学		設備・エネルギー	→ 電気・エネルギー
	食品科学	→ 変更なし			
柏木農業	生物生産	→ 生物生産			
	生活科学	→ 生物生産			
	環境工学	→ 変更なし			
	食品科学	→ 変更なし			

## 定時制課程・通信制課程

### 定時制課程

- 家庭・地域等と連携しながら生徒一人一人に寄り添った指導や支援を実施します。
- 専門スタッフによるよりきめ細かな支援体制の整備等を推進します。

### 通信制課程

- 生徒の多様なニーズ等に対応するため、ICTを活用した学習・相談体制を構築します。
- 後期入学や年度中途からの転入学・編入学の実施を通して幅広く学びの機会を提供します。



## 学校規模・配置

学校・学科の選択肢や生徒の通学環境等に配慮しながら、学校規模の標準を踏まえた計画的な学校配置に次のとおり取り組みます。

## 全日制課程

### 東青地区 (中学校卒業業者数(見込み) R4:2,481人 → R9:2,198人)

(単位:学級)

学校・学科	年度・学級数等	第2期実施計画			備考
		R4	R5~R9	期間内増減	
青森	普通	6	6		重点校
東青地区統合校	普通	—	6	+6	R9 募集開始
青森西	普通	6	0	△6	R9 募集停止
浪岡	普通	2	0	△2	R10 年度末閉校
青森東	普通	6	6		
青森北	普通	4	4		
	スポーツ科学	1	1		
青森南	普通	4	3	△1	外国語科を
	グローバル探究	—	1	+1	グローバル探究科に
	外国語	1	0	△1	改編
青森中央	総合	5	4	△1	
	機械	1	1		
	電気	1	1		
青森工業	電子	1	1		拠点校
	情報技術	1	1		
	建築	1	1		
	都市環境	1	1		
青森商業	商業	4	4		拠点校
	情報処理	1	1		
地区計		46	42	△4	

#### 【統合校における教育活動の例】※具体的な取組等は、開設準備委員会において協議

- 生徒の学習ニーズに応じたきめ細かな指導や系統的なキャリア教育
- 地域の歴史・文化に対する理解や愛着を深める教育活動(浪岡北島まつりへの参加や笛・ねぶた灯籠づくり等)
- 地域の魅力を国内外に発信する教育活動や豊かな心、健やかな体等の生きる力を育む部活動(人づくり・街づくりプロジェクトや空き缶壁画の制作・展示、浪岡地域において築き上げてきたバドミントンの活動等)

### 西北地区 (中学校卒業業者数(見込み) R4:983人 → R9:827人)

(単位:学級)

学校・学科	年度・学級数等	第2期実施計画			備考
		R4	R5~R9	期間内増減	
五所川原	普通	4	4		重点校
	理数	1	1		
木造	総合	4	3	△1	
鈴ヶ沢	普通	1	*	△1	地域校
	普通	2	2		
五所川原工科	機械	1	1		
	電子機械	1	1		
	電気	1	1		
	生物生産	1	1		
五所川原農林	環境科学	—	1	+1	拠点校
	森林科学	1	0	△1	森林科学科と環境土木科を統合し、
	環境土木	1	0	△1	環境科学科に改編
	食品科学	1	1		
地区計		19	17	△2	

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応

### 中南地区 (中学校卒業業者数(見込み) R4:2,122人 → R9:1,937人)

(単位:学級)

学校・学科	年度・学級数等	第2期実施計画			備考
		R4	R5~R9	期間内増減	
弘前	普通	6	6		重点校
弘前中央	普通	6	5	△1	
弘前南	普通	6	5	△1	
	普通	3	3		
黒石	情報デザイン	1	1		
	看護	1	1		
	生物生産	1	1		
柏木農業	環境工学	1	1		生活科学科を
	食品科学	1	1		生物生産科に統合
	生活科学	1	0	△1	
	機械	1	1		
	電気	1	1		
	電子	1	1		
弘前工業	情報技術	1	1		拠点校
	土木	1	1		
	建築	1	1		
	商業	2	2		
弘前商業	情報処理	1	1		
	家庭科学	1	1		
	服飾デザイン	1	1		
	スポーツ科学	1	1		
地区計		39	36	△3	

#### 地域校の規模・配置等に係る基準等

- <2学級規模の地域校>  
入学者数が40人以下の状態が2年間継続した場合、原則として翌年度に1学級規模とします。
- <1学級規模の地域校>  
募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満(20人未満)となった場合、募集停止等に向け、当該高校の所在する市町村等と協議します。

#### 地域校の活性化に向けた対応

地域校の活性化に向け、学校関係者と市町村関係者等で構成する地域校活性化協議会(仮称)における協議結果等を踏まえ、学校と地域等が一体となって教育環境の充実に取り組みます。

### 下北地区 (中学校卒業業者数(見込み) R4:581人 → R9:479人)

(単位:学級)

学校・学科	年度・学級数等	第2期実施計画			備考
		R4	R5~R9	期間内増減	
田名部	普通	5	5		重点校
下北地区統合校	総合	—	3	+3	R9 募集開始
	機械	—	1	+1	
	電気・エネルギー	—	1	+1	
大湊	総合	4	0	△4	R9 募集停止
	機械	1	0	△1	R10 年度末閉校
むつ工業	電気	1	0	△1	
	設備・エネルギー	1	0	△1	
大間	普通	2	*	2	地域校
地区計		14	12	△2	

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応

#### 【統合校における教育活動の例】※具体的な取組等は、開設準備委員会において協議

- 学科や系列の枠を越えた探究活動や科目履修等、総合学科と工業科の連携による教育活動
- 多様な選択科目の開設等、生徒の進路意識を高める教育活動
- エネルギーや介護福祉等に関する科目の開設等、地域の要請や産業構造を考慮した教育活動
- 最先端技術の学習、高度な職業資格の取得等、高い専門性を身に付けさせる教育活動

### 上北地区 (中学校卒業業者数(見込み) R4:1,585人 → R9:1,481人)

(単位:学級)

学校・学科	年度・学級数等	第2期実施計画			備考
		R4	R5~R9	期間内増減	
三本木	普通	6	6		重点校
三沢	普通	*	5	△1	
野辺地	普通	2	1	△1	
七戸	総合	3	3		
百石	普通	2	2		
	食物調理	1	1		
六ヶ所	普通	1	*	1	地域校
	普通	2	2		
三本木農業恵拓	植物科学	1	1		拠点校
	動物科学	1	1		
	環境工学	1	1		
	食品科学	1	1		
十和田工業	機械・エネルギー	1	1		
	電気	1	1		
	電子	1	1		
	建築	1	1		
三沢商業	商業	2	2		
	情報処理	1	1		
地区計		34	32	△2	

※三沢高校については、第1期実施計画に基づき令和4年度に学級減を予定していたが、第2期実施計画期間中の中学校卒業業者数の増加・減少の幅が大きくなることが見込まれ、これらの変動に対応する必要があることから、第2期実施計画期間に学級減を実施

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応

### 三八地区 (中学校卒業業者数(見込み) R4:2,438人 → R9:2,270人)

(単位:学級)

学校・学科	年度・学級数等	第2期実施計画			備考
		R4	R5~R9	期間内増減	
八戸	普通	6	6		重点校
八戸東	普通	5	4	△1	
八戸北	表現	1	1		
	普通	6	5	△1	
八戸西	普通	5	5		
	スポーツ科学	1	1		
三戸	普通	1	*	1	地域校
	生物生産	1	1		
名久井農業	環境システム	1	1		
	海洋生産	1	1		
八戸水産	水産食品	1	1		
	水産工学	1	1		
	機械	1	1		
八戸工業	電気	1	1		拠点校
	電子	1	1		
	土木	1	1		
	建築	1	1		
	材料技術	1	1		
八戸商業	商業	2	2		
	情報処理	1	1		
地区計		39	37	△2	

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応



## 定時制課程・通信制課程

### 定時制課程

- 学級数の増減なし

### 通信制課程